

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ほーぷ	公表日 年 月 日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		1階、2階、庭に分かれ一人当たり十分なスペースを確保しています。又、庭もあり身体を使った遊びを提供しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		学生のアルバイトを複数名来てもらう事で配置基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		写真や絵カードを使い視覚的にもわかりやすく掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		事業所内の危険箇所は適宜職員全員で話し合いをし子どもたちが安全に活動できるように環境づくりを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		相談室や静養室をクールダウンなどに活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝礼時に確認、前日の振り返りを行っています。又、月1度の会議で職員の意識の統一、課題解決に向けて話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年1度のアンケート、大きな行事の開催時に保護者の方に意見を聞いたりしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議等の中で職員同士でコミュニケーションをとる機会を設け思いや意見を伝え合う場を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在は第3者による外部評価を受けていないため。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間の研修スケジュールを元に防災、感染、事例検討などの研修を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページ上に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		契約時に聞き取りを行っています。モニタリング時期にも現在の様子や保護者の方の思いの確認をしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		可能な限り全職員が計画案の会議に参加し情報の共有、方向性の理解を深めています。会議に参加出来なかった職員には都度報告をしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員に情報を共有し計画に沿った支援を心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントツールを使用し、適応行動の状況を把握しています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		令和6年4月より5領域に沿った計画を作成し意識した支援を行いつつ関係機関との連携、地域連携など意識しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員で意見を出しあい作成し管理者が確認を行い修正等あれば行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の行事やイベント、出かける公園などバランスよく計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童のその日の様子などを見て個別対応、集団対応と支援を分けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		1日の流れを作成し職位間で共有し確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	現在は次の日の朝に前日の振り返り等を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ケース記録に日々の様子を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、都度保護者の方の意向を確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保健師さん等と連携し児童の様子など情報交換など連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		個別支援計画など相互の情報交換を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		ケース会議で情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		児童発達支援センターとの連携はまだない状況です。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		現在は交流の場はないが今後イベントなど交流する機会を作っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や個別で保護者の方とは意見交換の場を多く持っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		現在は研修等の機会は設けられておらず 今後は保護者の方が参加しやすい形で研修の機会を作っていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時のアセスメント、日々の利用時の保護者の方の相談などを考慮して計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		説明を行い同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	送迎時やノート、個別の面談は行っています。	定期的な面談は行えておらずモニタリング時期の面談は行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		現在、父母会はありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談事などがあった場合は迅速かつ個人での対応ではなくチームで対応をしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		SNS等を用いた発信はありませんが各月の予定表などで情報を保護者の方に伝えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		閲覧場所を決め閲覧後速やかに鍵付き書庫に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		環境設定、視覚情報、支援のを活用して伝わりやすい言葉、分かりやすい説明を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		今後は近隣の方を招いたり参加型の行事を考えたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを策定し訓練を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		マニュアルを策定し訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者の方に聞き取りの段階で確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者の方に聞き取りの段階でアレルギーの有無を確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		普段の活動の中では安全面に配慮した1日の流れ等を作成して職員間で共有しています。	

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画を策定しています。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		朝礼時に確認、前日の振り返りを行っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に研修等を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			現在、身体拘束が必要な利用児童はいないが研修の中で全職員で話し合いを行っている。